

“地歌サロン始めます!”

知的な会話や趣味を楽しむ場として平安時代にすでに存在していたというサロンの文化。解説するにも難しい古典の世界「地歌」をもっと「現在の音楽」と変わりなく身近に感じながら演奏したり、聴いたりしてみたい。

参加者と一緒に、地歌の魅力を再発見していきたいとの思いで企画しました。

箏や三味線の音に触れ、言葉に触れ、潤いあるひと時を過ごしませんか。

そして古典の探究とともに、新作地歌にも挑戦します。

千年先も変わらず「地歌」が楽しまれていることを願って、地歌サロンの始まりです。



©三好佐和子

竹澤悦子

たけざわ えつこ ■地歌箏曲家。東京藝術大学卒業。箏を沢井忠夫・一恵、地歌・胡弓を中井猛の各氏に師事。地歌を基本に弾き歌いの新作を多く手がける。2020年「浪曲のよう弾き語る」「地歌における相撲もの」をテーマに松田哲博原案・野村誠作曲「初代高砂浦五郎」を初演。

第一部ゲスト

梅辻理恵

うめつじ りえ ■地歌演奏家。東京藝術大学卒業・修士課程修了。京都府出身。芦垣美穂師に師事。修士論文のテーマである「柳川三味線」を中澤真琴(真真佐)師に習い現在に至る。NHK邦楽技能者育成会37期生。宮城社師範。祇園甲部八坂女紅場学園地唄科講師。



第二部トークゲスト

松田哲博

まつだ てつひろ ■相撲探求家。元・一ノ矢。1960年鹿児島県徳之島生まれ。琉球大学理学部物理学科卒業後、若松部屋(現高砂部屋)に入門し、2007年11月場所引退するまで24年間の力士生活。引退後、13年間高砂部屋マネージャーを務め、退職後もアドバイザーとして高砂部屋に関わりながら、シクレ講座や相撲の物理的な探究を続けている。



第二部トークゲスト

鶴見幸代

つるみ さちよ ■作曲家。茨城県坂東市出身。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。コンサート音楽、合唱、映画音楽、伝統音楽の現代風編曲などを手がける。鶴見幸代作品集CD「eu canto..」をリリース(fontec)。日本相撲聞芸術作曲家協議会(JACSHA/ジャクシャ)理事。第3回両国アートフェスティバル2017「ぶつかりピアノ両国門天場所」芸術監督。



© igaki photo studio

第二部トークゲスト

神田佳子

かんだ よしこ ■打楽器奏者&作曲家。東京芸術大学器楽科打楽器専攻卒業及び同大学院修了。現代音楽のスペシャリストとして、国内外で数多くの新作初演を行ってきた。また、相撲太鼓を所有するほどの生粋の好角家。相撲にまつわる「SUMO-TAIKO」、相撲組曲「Xe」を作曲・作品化。心技体をキーワードに相撲と音楽の真髄を探究中。



2021年6月6日 sun 15:00 open / 15:30 start 3,500 yen

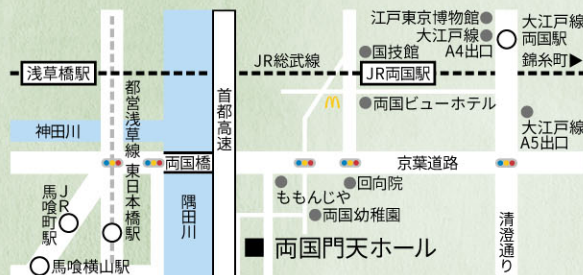
両国門天ホール

お問合せ Tel・Fax 03-6666-9491(電話は平日13~17時)

墨田区両国1-3-9 ムラサビル1-1階

JR総武線「両国駅」西口から徒歩5分 / 大江戸線「両国駅」A4、5出口から徒歩10分

都営浅草線「東日本橋駅」から徒歩10分



切り取り線

参加申込票

お名前

緊急後連絡先(携帯等)

Eメール

※参加申込票にご記入の上、当日ご持参ください。

※コロナ対応にご協力ください。個人情報とはそれ以外の目的で使用致しません。

※今後のお知らせをご希望の方はメールアドレスをお書きください。